

緑化通信

2020
1月25日
(年7回25日発行)
第477号



発行所
一般社団法人 日本植木協会

〒107-0052 東京都港区赤坂6-4-22 三沖ビル3階
TEL.(03)3586-7361 FAX.(03)3586-7577
URL: http://www.ueki.or.jp/
E-mail: honbu@ueki.or.jp



購読希望の方は上記宛へお申込み下さい。年間購読料 5,000円

歓迎

(一社)日本植木協会 令和二年度 通常総会

歓迎の挨拶

関東ブロック長

鶴澤 栄

(八街植木・千葉県)

新年あけましておめでとうを、お祈り申し上げます。本年も協会の皆様にとって良い年になりますように。

京で開催されます。創立五十周年記念全国大会という節目の年であり、多数の会員の皆様の参加を関東ブロック会員一同心より歓迎いたします。

した二十三号が接近し甚大な被害をもたらしました。千葉県君津市では送電線鉄塔が二基倒され、この時の風速は七十メートルの突風

みられます。ビニールハウスの園芸農家も露地栽培に切り替える方も多そうです。苗木も傾いたままの状態の所が多く、まだまだ台風の影響は残っています。温暖化による自然災害・気候変動は増々顕著になっていくでしょう。自然災害に強い生産体制づくりと環境保全に

を継続的に進めたいと思っております。さて、植木の動向として、は東京オリンピックが開かれる年の割にはあまりパツとしません。建売住宅も規模が小さく、ホームセンターの売り上げも伸びていないようです。反面、忙しくて手が回らない、秋の予約で完売という方もいます。当たり前ですが、ニーズのある良物を継続的に進めたいと思っております。

東京の今とこれから

東京都支部長

高橋 浩久

(高橋園芸)

新年明けましておめでとうございます。

等内外共に、政治経済が目まぐるしく動いていました。また、皇位継承が行われ、新たな令和の時代が始まりました。一年を締めくくる漢字には「令」が決まり、安部首相が選んだ一字は「始」でした。

今年、昨年のラグビーワールドカップ日本大会から始まり、東京オリンピック・パラリンピックが行われます。スポーツの力、躍動感を感じる新たな年にもなります。私たち、日本植木協会もこの総会を、新たな時代の始まりとなる様に考える場となれば有意義な総会になると思っております。



現在、東京支部は29園社で年間5回の定例会を行い、情報交換や親睦を図



ています。(支部内の研修や他の生産地視察等行いたいと考えています。)

ません。

1890年頃、調布・小金井で始まったと聞いています。昭和37年頃から、オリンピック関連の建設が活発となり、高度経済成長期のマイブームと共に東京での植木生産が多くなりました。

また、東京の農地の多くが生産緑地制度の下、税制措置が行われていたことが、2022年に30年の制度期限(この間、土地を売る事は相続時以外出来ない)を迎え、農地の買い取り申請を行う農家が増える事が懸念されています。それに伴い、後継者が減少する可能性が高いと思われることが、農地を借りることが出来るようになり新しい形態の農業が誕生するかもしれ

バブル崩壊後、景気低迷のあおりを受けて植木生産は減少しましたが、ハナミズキの品種選抜やソヨゴ・ギンバイカ・モミジ等、品種ブランドの開発生産に取り組んでいます。東京都

という場所柄、消費地が近く注文問い合わせ等の件数が多いが少量多品種の為に、手間がかかり利益が少ない仕事も多い。

また、東京の農地の多くが生産緑地制度の下、税制措置が行われていたことが、2022年に30年の制度期限(この間、土地を売る事は相続時以外出来ない)を迎え、農地の買い取り申請を行う農家が増える事が懸念されています。それに伴い、後継者が減少する可能性が高いと思われることが、農地を借りることが出来るようになり新しい形態の農業が誕生するかもしれ

結ぶに、昨年のラグビーワールドカップで流行語にもなった「ワンチーム」の様に、私たち植木業界も一丸となって飛躍の年になるよう願っております。



最後にありますが日本植木協会の発展と、皆様のご健勝・ご多幸を祈念いたしまして私の挨拶と致します。

水城清志顧問(有水城園)にて伝達式があり、ご夫妻で芸場・福岡県)は、協会の要職を長きに亘り務め、緑化木の生産振興に寄与して

サザンカが多く出荷されています。相手国の事情もあり波がありますが、これが安定化するばかなりの需要が見込まれるのではないのでしょうか。

水城清志顧問(有水城園)にて伝達式があり、ご夫妻で芸場・福岡県)は、協会の要職を長きに亘り務め、緑化木の生産振興に寄与して



サザンカが多く出荷されています。相手国の事情もあり波がありますが、これが安定化するばかなりの需要が見込まれるのではないのでしょうか。

水城清志顧問(有水城園)にて伝達式があり、ご夫妻で芸場・福岡県)は、協会の要職を長きに亘り務め、緑化木の生産振興に寄与して

水城清志氏

千葉県支部の現状

千葉県支部長

奈良 克巳

(有奈良造園)

新年あけましておめでとうございます。旧年中は大変お世話になりました。本年もよろしくお願ひ申し上げます。

さて、本年度全国総会が、東京に於いて開催されます。担当ブロックの一員として、千葉県支部一同、心よりの歓迎申し上げます。



また、昨年、令和元年度関東ブロック通常総会を千葉県支部が担当させていただきました。成田ビューホテルに於いて、参加人数七十二名の方にお越しいただき、盛大に開催する事が出来ました。大変有難うございました。



現在、千葉県支部の会員は三十三社園で、ほぼ県内全域に及んでおります。特徴としては、落葉高木、常緑高木、低木、常緑高木、コンテナ樹木等、幅広い生産を行っております。

しかし、残念ながら、生産面積、生産量共に減少傾向にあります。後継者のいない生産者も多いため、荒れた圃場も多々見受けられます。そのため、一大消費地近郊の有利な条件を生かし、同業社園、生産者と力を合わせていけばチャンスはあると思います。

そして、忘れることのない昨年の台風十五号です。今までにないような風に見舞われ、大変な被害が出てしまいました。検査の通った予約済みの品物が倒

されたり、枝を折られたりして、キャンセルになった木がたくさん出てしまいました。また、検査済みの品物を出荷しようにも、圃場までの道が倒木などで通れずに出荷出来ない品物もありました。未だに、施設の復旧や樹木の直しが完全には終わっておりません。

私の今までのイメージでは、千葉県はそれほど大きな台風もなく、夏はそんなに暑いですが、冬は雪が年に数回積もるかどうかで、大変住みやすい所だと思っております。ただ、今回の台風はさすがに恐怖を覚えました。



今年、東京オリンピックは、一宮町の釣ヶ崎海岸ではサーフィンが行われます。是非とも自力でチケットを確保していただいで、観戦に来て頂ける事を心よりお待ちしております。



また、この東京オリンピック、この東京オリンピックを契機に、少しでも前向きな気持ちで支部活動をしてまいりたいと思います。

最後に、日本植木協会の発展と協会の皆様のご健勝を、お祈りいたしまして、千葉県支部の現状報告とさせていただきます。

栃木の現状と今後

栃木県支部長

山崎 雄造

(有みどり産業)

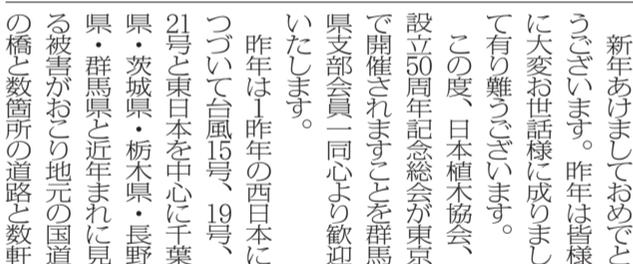


新年あけましておめでとうございます。本年も日本植木協会会員の皆様にとりて良い年となりますようご祈念申し上げます。

昨年、平成から令和に変わり初めての通常総会が東京で開催されることを、栃木県支部会員一同心よりの歓迎申し上げます。

昨年、平成から令和に変わり初めての通常総会が東京で開催されることを、栃木県支部会員一同心よりの歓迎申し上げます。

活動しています。県北は西那須、大田原地区、宇都宮鹿沼地区です。年の初めに総会を行い、春と秋に定例会を開催し情報交換や現状の問題点、生産数量、物流、この先の経済、各社で不足している樹木、余っている樹木、探している樹木又は、各社園の現状報告、今後の展望を話し合っています。



植木協会の発展と会員の皆様の更なる活躍とご多幸を祈念申し上げます。これからも栃木県支部をよろしくお願ひいたします。

植木協会の発展と会員の皆様の更なる活躍とご多幸を祈念申し上げます。これからも栃木県支部をよろしくお願ひいたします。

群馬県支部としての現状

群馬県支部長

瀧沢 政巳

(株清紫園)

新年あけましておめでとうございます。昨年、皆様が大変お世話になりました。有難うございます。

この度、日本植木協会、設立50周年記念総会が東京で開催されますことを群馬県支部会員一同心よりの歓迎いたします。

また、私共、植木の業界は依然として厳しい状況が続いていますが、最近の人びとの時代の変化なのか緑化に対する気運が低下しているように感じます。この様な時代において植木協会員の知恵と工夫で明るい未来の植木業界を目指していきたいと思っております。

また、私共、植木の業界は依然として厳しい状況が続いていますが、最近の人びとの時代の変化なのか緑化に対する気運が低下しているように感じます。この様な時代において植木協会員の知恵と工夫で明るい未来の植木業界を目指していきたいと思っております。

また、私共、植木の業界は依然として厳しい状況が続いていますが、最近の人びとの時代の変化なのか緑化に対する気運が低下しているように感じます。この様な時代において植木協会員の知恵と工夫で明るい未来の植木業界を目指していきたいと思っております。

あなただけの本を作ませんか?

あなたの夢・あたためている作品を形にしてみませんか?
皆さまの本作り—準備から納本まで—誠意をもってお受けします。

関東図書株式会社
〒336-0021 さいたま市南区別所3-1-10
TEL 048(862)2901 代 FAX 048(862)2908 代
0120-161092
http://kanto-t.jp/

関東図書の自費出版 KANTO TOSHU

- 自分史・写真集・画集・歌集・句集・詩集・小説・随筆 他をお考えの方は、どうぞお気軽にご相談下さい。編集スタッフが、お手伝いします。
- ISBN(国際書籍コード番号)もとれます。
- 他にも、HP・動画・AR等、なんでもご相談ください。

本植木協会・設立50周年記念総会にご出席の皆様方は、馬場支部の歓迎のご挨拶と致します。

新潟県支部の現状

新潟県支部長
畠山 富夫
(株)畠山種苗園

新年明けましておめでとうございます。本年も会員皆様にとって良い年となりませうと祈念申し上げます。令和になり、初の通常総会が関東甲信越ブロックで開催されますことを新潟県支部として心より歓迎いたします。昨年は8月の九州北部豪雨、9月の台風15号による千葉県を中心とする近県に甚大な被害をもたらした、10月には台風19号が関東、東北地方に記録的な大雨をもたらした川の流れを招き膨大な自然災害が多く発生しました。被災した皆様に心よりお見舞い申し上げます。



新潟県の木 コキツバキ

今年52年ぶり2回目のオリピックが205ヶ国12、000人以上の参加のもと7月24日〜8月9日まで暑い中熱戦が繰り広げられます。その

新潟県も過去を振り返って見ると1964年6月新潟地震(M7.5)・2007年7月新潟県中越沖地震(M6.8)・2011年7月新潟・福島豪雨災害・1963年(昭和38年)38豪雪・新潟県は山間地が多い為地震と豪雨による土砂災害など多くの自然災害に直面して来ましたが、そこで感じることが「備えあれば患いなし」と言いつつわざと通りではありません。

新潟県は大きく分けて、富山県と隣接する上越地域、中央部に位置する中越地域、山形県と隣接する下越地域、トキで有名な佐渡ヶ島がある佐渡地域と四つの地域から成り立っています。新潟県の全国一番は米の生産量、米菓の出荷額、原油、天然ガスの生産量など色々あります支部会員も多少関係のある処では、チューリップの切り花生産です。支部会員は全員下越地域に他の地域に会員がない事が残念です。今後県内各地域に仲間を増やす事が必要と考えています。今現在5名の会員は地域性苗木の生産者2名は「コキツバキ・ヒメアオキ・トネリコ・エゾユズリハ」など特色のある物を生産し、3名はGCPの生産「シバザクラ・コグマザサ・フッキソウ」など数十万単位で生産しています。全国の協会の皆様是非新潟産の苗木、GCPを御使用ください。



雪に備えて冬植え状況

の参加のもと8月25日〜9月6日まで開催されます。メイン会場の国立競技場や関連施設などは近年、環境に配慮した緑化が至るところで採用され競技者は勿論、来場者も快適に過ごせるよう施工されていると聞いています。



スギのコンテナ栽培

長野県で初めての緑化フェア

長野県支部長
上条 祐一郎
(有)丸八種苗園



あけましておめでとうございませう。関東ブロックの西端に位置する長野県支部は、会員6名の小さな支部です。その長野県で、平成から令和にまたがった昨年4月25日から6月16日まで、初めての緑化フェア(信州花フェスタ2019)が開催されました。

準備の段階から植木協会に声をかけてもらい、材料調達に支部として関わることができたのは幸運でした。しかし「花フェスタ」の愛称からもうかがえるように設計案をみると材料のほとんどは草花で、聞いたことも無い植物も多く、最初は戸惑いました。でも、せめて宿根草とグラウンドカバーは自分たちが取ろうと、前支部長の百瀬さんや委員会担当の安藤さんの働きかけで、それらの調達と養成を請け負うことができました。

た設計への対応が一番苦労しました。それでもなんとかが納められる目処が立ち、冬を越えて春の声を聞く頃になると、今度は気候の変動に苦労しました。会場の準備が始まった3月は、例年以上に気温が高

かたためにハウスで冬越しした苗の芽が動き出し、しまい、4月に入ると今度は寒の戻りがあり、雪が降ったり遅霜に見舞われ、新芽がやられたこともありました。遅霜は寒冷地によくあることで、4月下旬からの会期設定で大丈夫なのか、当初から危惧されていたことです。さらに開幕後の4月27日にはマイナ3度の遅霜があり、既に納品は終わっていたので我々には影響はありませんでしたが、会場運営の方は植え替えなど、さぞ苦労したと思います。

関係各位の努力もあって、緑化フェアは当初目標の50万人を超える多くの来場者で賑わい、最終日にはついに70万人に達して、大成功のうちに閉幕することができました。祭りのおかげで、この緑化フェアで盛り上がった機運をこの後にどう繋げるか、という課題は残されましたが、緑化フェアを契機により団結できた支部会員の皆の力で、進めていきたいと考えています。



支部の展示：長野県のまわりはカラマツの苗とイチイの苗の森

地球に優しく、植物にも優しい
生分解性 biopot



株式会社 グリーンサポート
大阪府貝塚市三ツ松 688-3
TEL 072-447-0112 ・ FAX 072-447-0133
HP: <http://www.green-support.com>



～緑化木・種苗生産用資材 総合取扱い～

【取扱い品目】
根巻用麻ロープ・麻布・麻テープ、ポット類
支柱各種、防風網・寒冷紗・ネット類各種、
スリングベルト、モッコ、葉刈袋、その他



谷口産業株式会社

TEL : 072-432-1828 FAX : 072-432-1838 <http://www.ts37.co.jp>

各地で開催された総会・研修会

北海道・東北ブロック

令和元年度通常総会を開催

(前田村山林緑化農園・秋田県)

田村 政則

北海道・東北ブロック通常総会を令和元年8月29日、札幌市「札幌東急REIホテル」において午後4:30よりブロック会員13名及び協会本部より秋山副会長出席の計14名において開催いたしました。

小高副ブロック長による開会の辞、安瀬ブロック長による挨拶に続き、秋山副会長より祝辞を賜りました。議長は慣例に従い安瀬ブロック長が選任され議事へと進みました。

第1号議案、平成30年度事業報告、決算報告が説明され、その後監査報告が報告されました。年度会費の徴収状況について一部質問がありました。満場をもって承認されました。

第2号議案、令和元年度事業計画(案)、収支予算(案)においては特に意見もなく満場をもって承認されました。



令和元年度 北海道・東北ブロック 通常総会

その他報告 菅原理事より、昨年より遅延していた石巻復興記念公園事業は来年度には順調に出荷が始まるのではないかと報告があった。その後秋山副会長より協会報告がなされ、仲田副ブロック長による閉会の辞をもって総会を終了しました。

懇親会 場所を移動しての居酒屋での懇親会。飛行機の遅延などの為、やっと懇親会に間に合った2名、総会前の研修会で講師、案内をして頂いた笠 康三郎氏と翌日の視察予定で以前ブロック総会で講演をして頂いた(株)サンガーデンの山口社長も参加しての総勢17名での懇親会でしたが、久方ぶりの再会とススキノを皆さん楽しんでいただくと確かです。

令和元年度 北海道・東北ブロック研修会

今回の研修会は札幌市及び恵庭市において8月29日午後、8月30日午前の両日に12名の参加のもと視察を中心に行いました。

29日13時 北海道・道庁赤れんが庁舎前集合 講師は市民団体「札幌ハルニレプロジェクト」の代表も手掛ける(株)緑化計画 代表取締役の笠(りゅう)康三郎氏です。マイクロバスをチャ



出発地点の赤れんが庁舎前



創成川公園



中島公園 シダレウンリュウヤナギ(枝垂雲龍柳)



えこりん村 銀河庭園

の中島公園へ。公園の面積が24ha、明治20年に遊園地の開設と共に本格的な競馬場も作られたと言います。また神社、体育センター、コンサートホールや日本最初の洋風ホテル(豊平館)など様々な建物なども散らばっており、皆さんの説明を受けながらとにかくよく歩きました。

8月30日9時に札幌市のホテルを出発して恵庭市の最初の視察地「えこりん村」

「えこりん村」を自指すことだそう。国連が目指しているSDGs 持続可能な社会・発展と同じ考えのもとに作られたという事です。とにかく



中島公園内「豊平館」前にて 記念撮影



笠講師の説明 テレビ塔前

広い庭園で30のテーマ別に分かれていて、様々な宿根草やバラなどが植栽されています。農業は使っていないという事で特にバラの管理は大変という事で、また機会があったら訪れたい所です。

えこりん村を出て同じ恵庭市(株)サンガーデンへ。夏場は生産をしないという事で、園芸部卸50%、売店部卸/カフェ15%、造園緑化工事35%と多角経営をしています。カフェと言ってもランチバイキング形式の昼食を出している、ここで昼食を取って研修会を終了しました。この2日間の研修会を開催するにあたっては北海道の会員の皆さんには大変お世話になりました。

関東・甲信越ブロック

令和元年度通常総会

佐藤 秀人 (陸緑花園・千葉県)

日時: 令和元年11月12日(火) 午後3時~5時
場所: 成田ビューホテル(西館2F 翼) 〒286-0127 千葉県成田市小菅700
内容: ティック・タム・チャー氏の講演会
演題: 「日本の社会・雇用情勢と外国人労働者の必要性」
参加者: ブロック会員72名



有村治子顧問挨拶

本年度のブロック総会は、11月12日(火)千葉県成田市の成田ビューホテルにて開催されました。本協会より 秋山富士雄副会長、佐藤建一専務理事、そして顧問の有村治子参議院議員にもご臨席いただき、ブロック会員72名が出席し開催された。

清水宣昭ブロック長、来賓の挨拶後、榊原吉明氏の司会進行により議事に入ります。議長に越川芳弘、副議長に伊藤哲哉氏が指名され、各議事が慎重審議のうえ、全て承認された。新ブロック長に千葉県支部の瀧沢栄氏、副ブロック長に埼玉県支部の高橋英治氏と神奈川県支部の飯島裕之氏が選出された。



ブロック長挨拶



講演後の集合写真



新役員

「もっとコミュニケーションがとれていれば解決できた問題が多くあること」を理解して欲しい。「夢を持って来日した留学生の苦労働、彼らが安らぐ気持ちを持て安心して楽しく暮らせるような活動をしていきます。」

最後に、我々の千葉県は台風15号、19号、そして大雨により甚大な被害を受けました。全国の会員の皆様からご心配、また多くのご支援をいただきました。この場をお借りしてお礼申し上げます。

「す」と述べられています。植木生産の現場でも外国人労働者に頼らなければならぬ場面が多くあります。日本人も外国人も変わりなく、お互いにコミュニケーションを取って悲しい思いをすることが無いように努めていけたらと思います。

現在、ベトナムには2万人の日本人が住んでいるそうです。日本からマツ、マキなどの植木や盆栽が輸出されています。これから日本とベトナムの交流が深まれば良いと思う講演でした。

中部ブロック

令和2年度 中部ブロック 通常総会

ブロック長 竹中昭雄
(岐阜種苗㈱・岐阜県)

令和元年12月10日(火) 案(役員改選)が滞りなく承認された。新役員は別紙のとおり。

つづいて、報告事項が各担当よりあり、専務理事より書面にて報告のあった本部事業の報告書を黒田ブロック長が代読した。

閉会の辞(三重県支部 鶴飼氏)により、別席で懇親会に移した。新ブロック長のあいさつ(愛知県支部 松崎氏)の議事で、第一号議案(令和元年度決算報告及び監査報告)、第二号議



令和元年度中部ブロック研修会

黒田晴彦
(南美好緑化・愛知県)

6月26日(水)〜28日(金)の日程で台湾視察研修を参加者20名で行いました。

中部国際空港に集合し、台湾桃園国際空港午後後に到着し、貸し切りバスにて、台北植物園に向かいました。

台北植物園の起源は日本による台湾統治時代である。



中でも蓮の池は行った時期もあり、見たえがりました。夕方まで散策した後、台北101ビルの展望デッキに行き



り、1896年に日本人によって創設された「台北苗圃」が前身とされています。

南方への進出を期した日本が食用あるいは薬用といたった目的で、台湾以南で採集された植物の種子を収集、研究する拠点として活用された。

台北市内には多くの植栽もされており、住宅や商店の周りにも鉢植えであって、緑が大切にされています。

2泊3日と短い海外視察研修でしたが、参加された方々とも有意義な時間を過ごすことが出来ました。

回、ブロックとして初めての海外視察でしたが、ご協力、ご賛同いただいた、全ての皆様へ感謝です。

関西ブロック

関西ブロック通常総会

ブロック長 溝口勝夫
(株)幽芳園・大阪府

令和元年11月22日(金)TKP神戸三宮カンファレンスセンターにおいて関西ブロック通常総会が開催された。

総会は、辰巳ブロック長の挨拶に続き協会会長挨拶を阪上和彦副会長から受けました。議事は、辰巳ブロック長に就任された。

小山進氏(株)パティエシエ コヤマ)ら奈良支部と和歌山支部を大阪支部に統合したらどうかの提案があり、審議の結果、大阪支部に統合することで承認され、令和2年度の事業計画が承認された。



愛媛県今治地場産業振興センターにて会員27社園の協会の参加を得て、令和元年11月8日(金)午後2時から開催されました。

中国・四国ブロック

令和元年度中国・四国ブロック総会

ブロック長 森本泰好
(株)徳島県植物市場・徳島県

より中国・四国ブロック総会を開催いたしました。本会より秋山副会長に出席していただき、スムーズな総会となりました。

当日、午前11時より打ち合わせの役員会を開き、総会資料の誤りなど、必要なチェックを行い、総会の議事に臨むこととなりました。

鮮味がある話があり、「植物と人間との付き合い方がうまい」と私は思いました。講演は、1時間30分

交代、次期総会開催場所を岡山市に決定し、議事を可決終了しました。

午後3時15分より講演を行い、「植物貿易の第一人者、金岡信康氏(4代目金岡又右衛門)に、世界の感動を日本に、日本の感性を世界へ」のタイトルにて植物貿易の技術的なことから、「人は植物がないと生きられないが、植物は人がいなくても生きられる」当たり前だが、話の中では新鮮味がある話があり、「植物と人間との付き合い方がうまい」と私は思いました。



中国・四国ブロック研修会は、11名の参加を得て、7月5日(金)6日(土)泊2日で、和歌山県内の植木産地の視察を行いました。13時30分和歌山JR駅西口集合後、車にて桃山町に移り、桃山町は、果樹栽培が盛んなところで、紀ノ川流域から山の麓に至るまで果樹園が広がっています。

中国・四国ブロック研修会の報告

中国・四国ブロック

研修会は、11名の参加を得て、7月5日(金)6日(土)泊2日で、和歌山県内の植木産地の視察を行いました。

集合後、車にて桃山町に移り、桃山町は、果樹栽培が盛んなところで、紀ノ川流域から山の麓に至るまで果樹園が広がっています。

2日目は小雨の中、参加者が8名になりましたが、8時にホテルを出発し、世界遺産の高野山に移動して時間の制約もあり奥の院のみ参拝となりました。

高野山の標高が約800mあり、夏は涼しく過ごしやすいため、夏は涼しく過ごしやすい場所です。

偶然にも、阪中緑化樹生産センターの阪中さん(昨日の阪中さんのお兄さん)にお会いし、何かパワースポットの何かがあったような気がしました。

後、四国に帰る人はここで別れて帰路につき



九州ブロック

令和元年度九州ブロック通常総会

九州ブロック長 船橋修一
(南船橋緑化・鹿児島県)

令和元年度九州ブロック
通常総会は令和元年11月7
日熊本市の「アークホテル
熊本城前」において、出席
者43名委任状提出者39名
もと盛大に開催しました。

総会は熊本県支部大阿蘇
造園 後藤英保氏の司会で
古賀副ブロック長の開会の
辞のあと、豊岡ブロックの
挨拶、来賓の宍倉会長の祝
辞を船橋副ブロック長が代
理で行い、和気あいあいの
中にも慎重審議が行われ、
満場一致ですべての議案が
承認されました。

から「円滑なブロック運営
のために会費の値上げが必
要」という建設的なご意
見、ご提案があり、今総会
においての審議となったし
だいであります。また第5号議案
役員改選については新ブ
ロック長を鹿児島県支部船
橋緑化 船橋修一、新副ブ
ロック長福岡県支部久光農
園 久光嘉徳氏、熊本県支
部本部古閑樹苗園 古閑勝
則氏、事務局 鹿児島県
支部西郷農園 西郷純一氏
に、また12名の幹事、監事
が留任新任が承認されまし
た。また新本部理事として
福岡県支部大福 古賀晃氏
熊本県支部小平植木 小平
純一氏を推薦しました。

議案の審議の後、事務局
大村氏より4名の退会者の
報告があり、協会本部報告
を本部理事牛嶋克典氏、緑
育出前事業運営委員会報告

を西郷純一氏、九州緑化協
会報告を神代公治氏、青
年部会報告を青年ブロッ
ク長石松要一郎氏が行いま
した。

総会終了後は「白川河川
改修に伴う大クス立更ぎ工
法」と題して熊本市伊勢造
園建設㈱ 代表取締役佐藤

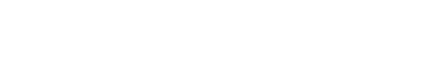
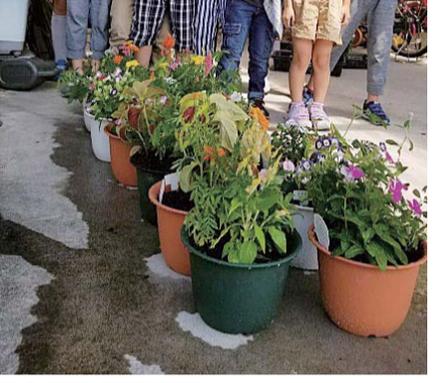
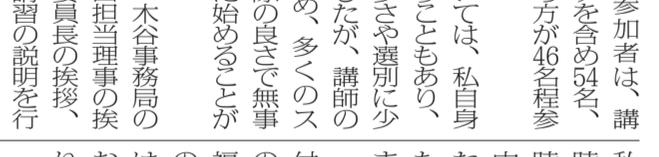
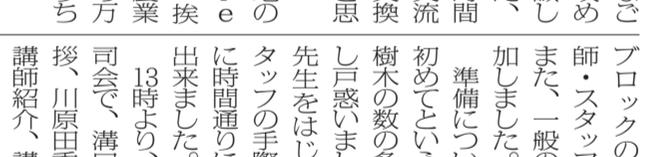
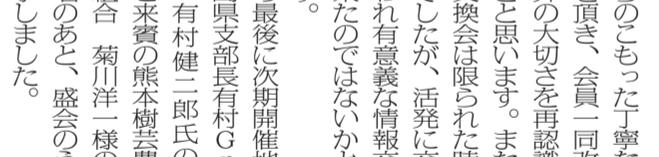
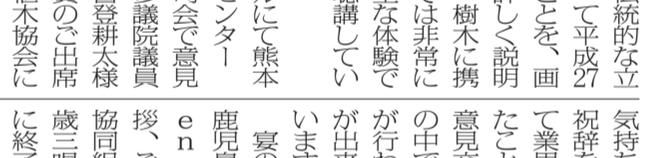
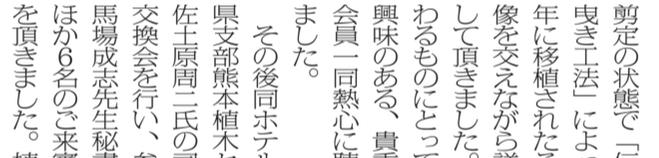
保夫様より講演
して頂きました。
熊本市街地
を流れる白川は
市街地よりも高
くなっている天
井川で阿蘇に大
雨が降ると一気
に水かさが増え
「暴れ川」と呼
ばれる危険な川
で、河川改修に
よって川幅を広
くすることが防
災に必要な課題
となっております

剪定の状態で「伝統的な立
曳き工法」によって平成27
年に移植されたことを、画
像を交えながら詳しく説明
して頂きました。樹木に携
像を交えながら詳しく説明
して頂きました。また、
業界の大切さを再認識し
たことと思います。また、
意見交換会は限られた時間
の中でしたが、活発に交流
が行われ有意義な情報交換
が出来たのではないと思
います。

その後同ホテルにて熊本
県支部熊本植木センター
佐土原周二氏の司会で意見
交換会を行い、参議院議員
馬場成志先生秘書登耕大様
ほか6名のご来賓のご出席
を頂きました。植木協会に
そして会員に対し期待する

気持ちのこもった丁寧なご
挨拶を頂き、会員一同改め
て業界の大切さを再認識し
たことと思います。また、
意見交換会は限られた時間
の中でしたが、活発に交流
が行われ有意義な情報交換
が出来たのではないと思
います。

私自身も3
時間という
時間は、集
中していた
ため、とて
も短く感じ
ました。
準備、片
付けと講師
の先生方、
福岡県支部
の皆様には、本当に
お世話にな
りました。





特集 緑育出前授業 累計実施回数 140回 参加人数累計 12500人突破

平成20年より11年間で緑育出前授業を累計140回行い、参加人数は12,514名となりました。

緑育をご指導してくださった会員さん、その社園の従業員の方、お手伝いをして下さった方々、今年もご協力ありがとうございました。

緑育出前授業は、豊かな森林・緑を次世代に継承するため、小学校において緑の大切さを伝えるための緑育出前事業を開催するとともに、緑化に関するイベントにおいて小学生や一般市民を対象に緑に親しみ・育むための活動を実施しております。

平成31年度の緑育出前授業をご紹介します。

平成31年度	実施ブロック・支部	実施学校・団体名	講義内容
1	九州ブロック/大分県支部	杵築市立豊洋小学校	奈多海岸において抵抗性クロマツ苗木の植栽指導、小学生に苗木の植え方を指導した。一緒に抵抗性クロマツの植林を行った。海岸林の重要性(防災・塩害など)について緑育を行う。クロマツについて(樹種特性・マツノザイセンチュウなど)の緑育を行う。昨年に引き続き、豊洋小学校4年生と海岸林の保全活動を行いました。
2	九州ブロック/福岡県支部	小郡市立立石小学校	昨年度同様に田中常緑園様の圃場にて植木屋さんの話、小郡の畑(土)、植物についての話や、掘り取りや剪定作業体験、漢字パズル体験などを行い、みどりの八鉄英、植木屋さんの仕事について授業を行った。
3	大阪ブロック/大阪府	大阪教育大学附属幼稚園	年長の生徒とその保護者に植木とはなにか、なぜ樹木を植えるのか、みどりの大切さなどを分かりやすく30分程度講義をし、その後、記念植樹をしながら再び屋外にて樹木の説明をしました。記念植樹も積極的に参加してくれました。また、全国国立大学附属学校PTA連合会表彰にて、大阪教育大学附属幼稚園がこの一貫の取り組みで会長賞を受賞された。
4	関東ブロック/千葉県	富津市立金谷小学校	木の話:1.植木屋さんとは 2.木の役割 3.木のはたらき 木に親しむ:1.この木はなに? まずは、心を開いてもらうため、体育館を使ってボールやゲームを少しして体を動かした。そして植木屋さんの色々な道具を実際に見せて説明をした。次にゲーム方法で樹木の名前や特徴を知ってもらい、最後に、家に帰ってから樹木を大切に育てて欲しいという願いを込めて、一人ひとりに苗木をプレゼントした。
5	九州ブロック/福岡県	うきは市立江南小学校	実際にカジムラファーム圃場にて、植木についての話し、植木屋さんの仕事について、オリーブの木についての授業、緑の重要な役割について授業を行った。また、オリーブから出来たオリーブオイルの食べ比べ、人気のオリーブの木について説明等を行った。これを機会に子どもたちが緑をより身近に感じ、緑の重要性を認識し、将来に繋げて欲しいと思います。
6	中部ブロック/愛知県支部	稲沢市立立立小学校	圃場にて植物の名前、特長を説明。剪定の体験を実施。講師はグループに一人ついて説明や手伝いをしました。
7	東北ブロック/宮城県	仙台市立幸町南小学校	植物が省エネルギーや美しい都市環境を作るのに役立てられていることを学んでもらった。また講師が職業を選択した理由や仕事の内容、生き方に関する話を聞き、社会人、職業人として大切なことを学んでもらった。ヒートアイランド現象の問題点やその対策について説明した。建物の温度上昇を抑えるための3つのはたらきを知る。太陽光の遮断、太陽光の断熱、植物葉面からの蒸散を比べてた。理科の勉強。
8	中部ブロック/三重県	三重県 dream station 学童	身近な植木どこから来るかご存知ですか?・植木の用いる宝物・花の寄せ植え体験/みんな真剣に話を聞いてくれて、質問も沢山してくれました。植木屋さんのことも知ってもらえたと思います。花の寄せ植えも自分の好きな植物を選び、上手に作る事ができました。
9	中国四国ブロック/徳島県	徳島市立国府小学校	パワーポイントとパンフレットを使用して説明した。・植木屋さんの仕事、植木屋さんとは?・日本人が愛する桜について・緑の大切さ、生物多様性について説明した。環境省が出している生物多様性の簡単な作成を用いたらよかった。話よりも植木の写真や花の写真に興味を持ってくれました。
10	九州ブロック/熊本県	GRUNKS	今回の緑育はまずチラシ広告を作り一般の方を中心とした鉢植え体験、剪定講習を行いました。いつもと違った緑育だったので上手くいかず不安でしたら、大人も子ども達も楽しく鉢植え体験ができた良い体験ができました。
11	関東ブロック/青年部会	お台場 プロムナード公園	今年で参加5年目となる東京オリ・パラおよび花きの普及イベントにて、来場者を対象として、こけ玉づくりワークショップ、木への漢字パズルを開催。猛暑の中、133名がこけ玉づくりに参加した。体験中に緑の大切さや植木のことを伝えました。
12	中部ブロック/愛知県	刈谷市立雁が音中学校	アジサイの挿し木を生徒に体験して頂き、樹木に触れて楽しんでもらい、育成したアジサイの苗は次年度の愛知県植樹祭において配布用苗木として使われる。今回の緑育は全国植樹祭の理想を継承していくための事業として愛知県よりお話をいただいたの活動であった。生徒たちは楽しんでくれたので将来の緑化を必要と簡易一助になれば嬉しいと思う。
13	九州ブロック/鹿児島県	出水市立西出水小学校	1時間目「植木屋さんとは」という題目でプロジェクターを使った授業を行う。緑の大切さ、植木屋さんのお仕事を伝える。2時間目校庭にてこの木なんの木を実施。同校で行うのは今年で8年目となる。(平成20年より実施。毎年第三学年を対象)座学では、実際の仕事風景等を写真で紹介するなど、普段みることのできない植木屋の仕事も伝えた。
14	九州ブロック/熊本県	GRUNKS	今回は老人ホームの方々や一般の方にも参加していただき、子どもからお年寄りまで幅広い年齢層の方々に鉢植え体験をしてもらい、とても喜んでくれました。
15	中部ブロック/愛知県	浦郡市立西浦中学校	学校敷地内へ植栽するイロハモミジの植栽方法と植栽後の管理について講習を行った。「卒業後、何年かたって大きくなった木を見たい」と生徒たちが話していたのが印象的であった。その気持ちを忘れずに緑に囲まれる大切さを育てて欲しいと願う。
16	九州ブロック/熊本県	菊池隈府小学校	今回は参加人数が100名といつもより多くの子供達に樹木の面白さや役割、特性を楽しく伝えることができました。そして質問も沢山してくれてすぐ興味をもってもらったと感じました。
17	緑育委員会/日本列島委員会/青年部会東日本ブロック	日比谷公園ガーデニングショー	緑化啓発としてミニ寄せ植えづくりを体験してもらった。寄せ植えのアドバイスをしながら、育て方、緑の大切さ、協会のPRを行った。寄せ植えには、苗木(イロハモミジ、センリョウ、マンリョウ、常緑ヤマボウシ、シマトネリコ)、鉢6種類、色々な石を好みで選び作成した。「365日の誕生日の木」大勢の方に紹介し、そこでも自分の誕生日の木のの特徴などを伝えて、樹木に興味湧くよう、また身近に感じてもらうよう努めた。
18	青年部会/福岡県	額田小学校/笠城ダム公園	昨年に引き続き福岡県環境緑化懇話会による「笠城ダム公園 植栽ボランティア」が開催され、その中で、植栽安全指導、植栽活動、及びこの木何の木の話を行う。対象は額田小学生45名。造園組合及び青年部会にて班に分かれて、ヤマボウシ、ソメイヨシノ、ヒラドツツジの植栽サポート及びこの木何の木の講義を行った。
19	青年部会/福岡県	福岡県小郡市生涯学習センター	児童を主体に行った「木偏の漢字」は、パズルで木偏の漢字を作り上げるもので、児童以上に保護者の方々が夢中になるなど好評であった。今年もこけ玉づくりも面白い、苗木を15種類程度(ハブ、シマトネリコ、イロハモミジ等)用意し、好きな苗木を選んでもらい、小さい子も手伝いながら一緒に作成しながら緑の大切さを伝えた。
20	九州ブロック/鹿児島県	出水市立西出水小学校	鹿児島県出水市になる出水植木組合の植木市場を生徒たちに紹介する。市場の歴史、仕事内容の紹介、実際のセリ見学などを行った。小学校のご厚意により、植木市場までの生徒たちの移動手段はバスをレンタルしていただいた。
21	関東ブロック/千葉県	東金市正気小学校	天気も悪くとても寒かったが、子ども達は元気に話を聞いて、植栽に楽しんでた。まずは植木屋さんとはと説明し、植木の役割、緑の大切さについても話した。植栽体験では、グループでそれぞれ好きな苗木を選んで、バランスを考え、プランターに植栽した。帰りには、これからも樹木を大切に育てて欲しいと、一人ひとりに苗木をプレゼントした。とても喜んでくれた。
平成31年度 21回 2321名			平成21年度からの累計140回/12514名



令和元年度「特別庭園樹木(名木)」を認定

①イヌマキ

樹高8.00m 幹周1.70m 枝張3.00m
樹形 直幹
推定樹齢 100年
認定番号 194001



(有)フクダイ種苗園 古賀 一生
福岡県 朝倉市

②イヌマキ

樹高5.00m 幹周1.70m 枝張4.00m
樹形 カブリ
推定樹齢 100年
認定番号 194002



今村大華園 今村 哲二
福岡県 久留米市

③シダレ梅

樹高4.50m 幹周0.85m 枝張3.00m
推定樹齢 70年
認定番号 194003



川津園芸 川津 富夫
福岡県 久留米市

名木認定制度は、最高の技術と長い年月によって育成され芸術的風格を備えた庭園樹木(造形仕立て物及び自然型仕立物)を「名木」と認定し、その価値を称賛するとともに、生産技術の継承、生産意欲の振興を図り、ひいては需要の喚起により業界発展に寄与することを目的としています。
名木の対象樹種は、本会会員の所有する中・高木で、販売の意思があり、運搬可能であるものです。
令和元年度は、九州ブロックを対象に募集を行い、一次書類審査、現地へ赴き二次審査を行い、申請樹木のうち「品位、風格を有し、社会的希少価値が極めて高いもの」として3本が認定されました。

シリーズ ちょっと一息、ほっこり出来るような記事を募集しています。是非お送り下さい。



蜂〜始〇物語 ⑤ (はちからはじまるものがたり) ポリネーション

友友(蜂蜜処・井上園)



ビワに訪花

ミツバチは花蜜の他に、花粉も集めます。この行動を利用して、果樹やイチゴなどは実成が良くなるのです。鑑賞樹に関しても、柑橘類はもとよりソヨゴやギンバイカ等で実成が良くなる傾向があるようです。また、自家不和合性のあるサクラの品種でも結実し数多くの果実が成熟します、これもミツバチ達のおかげと考えます。

圃場みつばちが居ると「農薬」や「除草剤」の散布に気を遣うようになります。特に殺虫剤はみつばちそのものの命を奪いかねないので…。花の咲いている樹木への散布は極力避け、どうしても必要な時は「ハッカ油」を添加して散布します。(「日本みつばち」は鼻が良く、刺激臭を嫌う傾向があります)

殺虫剤には、色々な系統があります。人間にも効く有機リン系やカーバメイト系などはほとんどの生物に



効くので便利なのですが、益虫やハチも殺してしまうので本末転倒農薬でもあります…。ネオニコチノイド系も万能で安価で「夢の殺虫剤」なのですが、浸透(成長点)移行性で残効性があるのが「もろ刃の剣」で、花蜜に入る可能性が高いので花の咲く前には使いにくい…。IGR系は、たぶん人間が飲んで大丈夫のような気がするが、対象となる虫の範囲が狭いので鑑賞樹には使いにくい…。削除法で、即効で残効性の少ない「ピレストロイド系」の殺虫剤の使用頻度が増えています…。



足に花粉をつける蜂

終末期活動で愚妻と山梨の「神代桜鑑賞ツアー」に行った折、イチゴ食べ放題に立ち寄りまして…食べなきゃ損とイチゴを頬張る業突張りをよそに、ハウスの隅に置いてある西洋ミツバチの巣箱を見に行くと、巣箱の出入口付近に亡骸がちらほら、蜂数も少なそうで崩壊寸前のコロニーでした…。そばにいた農家さんに「蜂さん元気がないですねえ～」と声を掛けると、一つの巣箱では1シーズンもたず、途中で交換することでした…。

農薬の散布時には、巣箱の出入口は閉めてあるはずですが。登録農薬を規定の倍率・回数で散布しているにもかかわらず、そこに居た数千匹のミツバチが全滅してしまう現実を目にして、振り返るとたらふくイチゴ食べて満面の笑顔の伴侶…「長生きするわぁ」と心でつぶやきました…。

井上友二 植木処・井上園(神奈川県)
写真:平本正之氏提供

会員動向

メールアドレス変更

▷上野万生園(福岡県)
k_ueno8808@ybb.ne.jp

訃報

▷外塚 彰 様(外塚 潔氏のご尊父様)
(株)外塚農園(茨城県)
令和2年1月7日没 享年89歳

1月1日付で採用にな



新規採用職員紹介

事務局からのお知らせ

りました岩崎泉(いわさきいずみ)です。協会事務局の業務を遂行するとともに会員の皆様のお力になれます様、努力して参りたいと思っております。不慣れな点が多々あると思いますが、ご指導のほど、よろしくお願いたします。

コンテナ農場(100万本生産)



コンテナ農場



オリーブ



カンツバチ赤花と白花

(株)瀬戸内園芸センター



愛媛県今治市旦甲 248-1 TEL 0898-48-0010(代) FAX 0898-48-8187
http://www.setoen.com/ E-mail: setouchi@setoen.com

主な生産物

クロマツ コニファー類 ヤシ類
カシ類 クスノキ タブノキ
モチノキ ウバメガシ オリーブ
カクレミノ クロガネモチ
サンゴジュ シマトネリコ
マテバシイ ヤブツバキ ヤマモモ
レッドロビン オウゴンマサキ
カンツバキ(赤花と白花) サザンカ
シャリンバイ ツツジ類 トベラ
ハマヒサカキ ヒサカキ ミカン類
サクラ類 イロハモミジ ハナモモなど